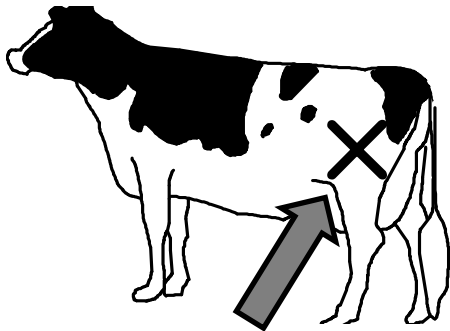


抗生物質残留事故に注意！

令和5年度は宗谷管内で9件の抗生物質残留事故が発生しました。そのうち6件が1～3月に発生しています。

マーキングの見落としや抗生物質投与牛のとり違いなどが原因となっています。今一度、自農場の抗生物質残留事故対策を確認しておきましょう。

1 抗生物質投与牛のマーキングは2カ所以上に！



牛体に誰が見てもわかるように“×印”などの目立つマーキング



足バンド



札の吊り下げやパイプラインにテープを巻いて“×印”を書く等

抗生物質使用中

・牛のとり違い防止のため、治療前にマーキングをおすすめします。

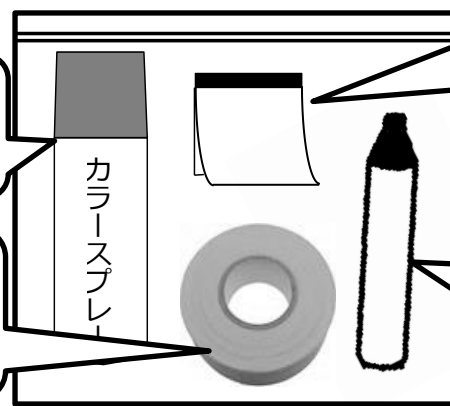
2 マーキング忘れ・転記ミス防止対策の例

ポイント

必要な物を1セットにして袋に入れ、マーキング忘れ・転記ミスを防止

カラースプレー
牛体への
マーキング用

ピンクテープ
対象牛の場所に
目印をつける



ふせん
個体番号を記入しPCに登録へ

油性ペン
ふせんに個体番号を書く

3 情報共有を密に！

ホワイトボードなどを活用して、搾乳前に作業者間で治療牛を確認しましょう。

治療牛	〇〇〇、 △△△
.....

ホームページもご参照ください。

